



Japan Association of
University
Administrative
Management

日本の大学を支える全ての方々へ



一般社団法人 大学行政管理学会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-6-1 九段シルバーパレス203
TEL/FAX 03(3511)7033

E-mail: office@juam.jp

URL: <http://juam.jp/>

大学行政管理学会とは

一般社団法人 大学行政管理学会は、プロフェッショナルとしての大学行政管理職員の確立を目指し、「大学行政・管理」の多様な領域を理論的かつ実践的に研究することを通して、全国の大学の横断的な「職員」相互の啓発と研鑽を深めるための専門組織として、1997年1月に大学・短期大学の管理職を対象に発足しました。

現在は、日本の大学を支えるすべての方々に門戸を広げ、教員、職員および大学院生などが意欲的に活動しており、それぞれが自律的かつ高度な専門職業として機能する大学アドミニストレーターとして、わが国の高等教育機関において果たす役割を追求しています。

2支部8地区および13のテーマ別研究会を中心とした研究会活動のほか、学会誌・事務局便りなどを刊行・配信し会員への情報提供を行っています。また、孫福賞および若手研究奨励金制度、自費出版奨励制度を設立し主体的な活動を奨励しています。さらに、英国大学行政職員協会（AUA）、および大学マネジメント研究会と連携・協力関係を結ぶなど、研究団体的側面と職能団体的側面という二面を統一的に追求する多彩な活動を展開しています。

少子・高齢化、グローバル化が進展する社会経済の中、教育立国を目指す我が国において、今後、ますます大学教育の質の向上・保証、社会が求める主体的に問題解決を図る人材の輩出等、大学改革への期待が一層高まっております。

これに応えるために経営改革はもとより、教育・学修支援、研究支援、地域・連携、国際交流等、多彩な機能・領域において専門性、自主性、独創性を有する大学運営に必要な実践を行うことができる人材の育成が強く要請されます。本学会はこれらの活動を通じて、本学会の目的である「大学の行政管理について実践的、理論的に研究し、大学行政管理に携わる人材の育成をととして、大学の発展に寄与すること」、さらには高等教育の発展に寄与することに邁進しています。

会長メッセージ

実践と理論の双方向で 大学の未来をデザインする 人財を育てる

一般社団法人 大学行政管理学会会長
笠原 喜明（東洋大学）



わずか30年ほど前に200万人を超えていた18歳人口は既に120万人を割り込み、20年後には80万人台になると予測されています。「失われた20年」等の日本経済の失速時期とも重なり、またグローバル化の進展による国際間競争が激化するなど、我が国の高等教育を取り巻く環境は、年々厳しくなっています。

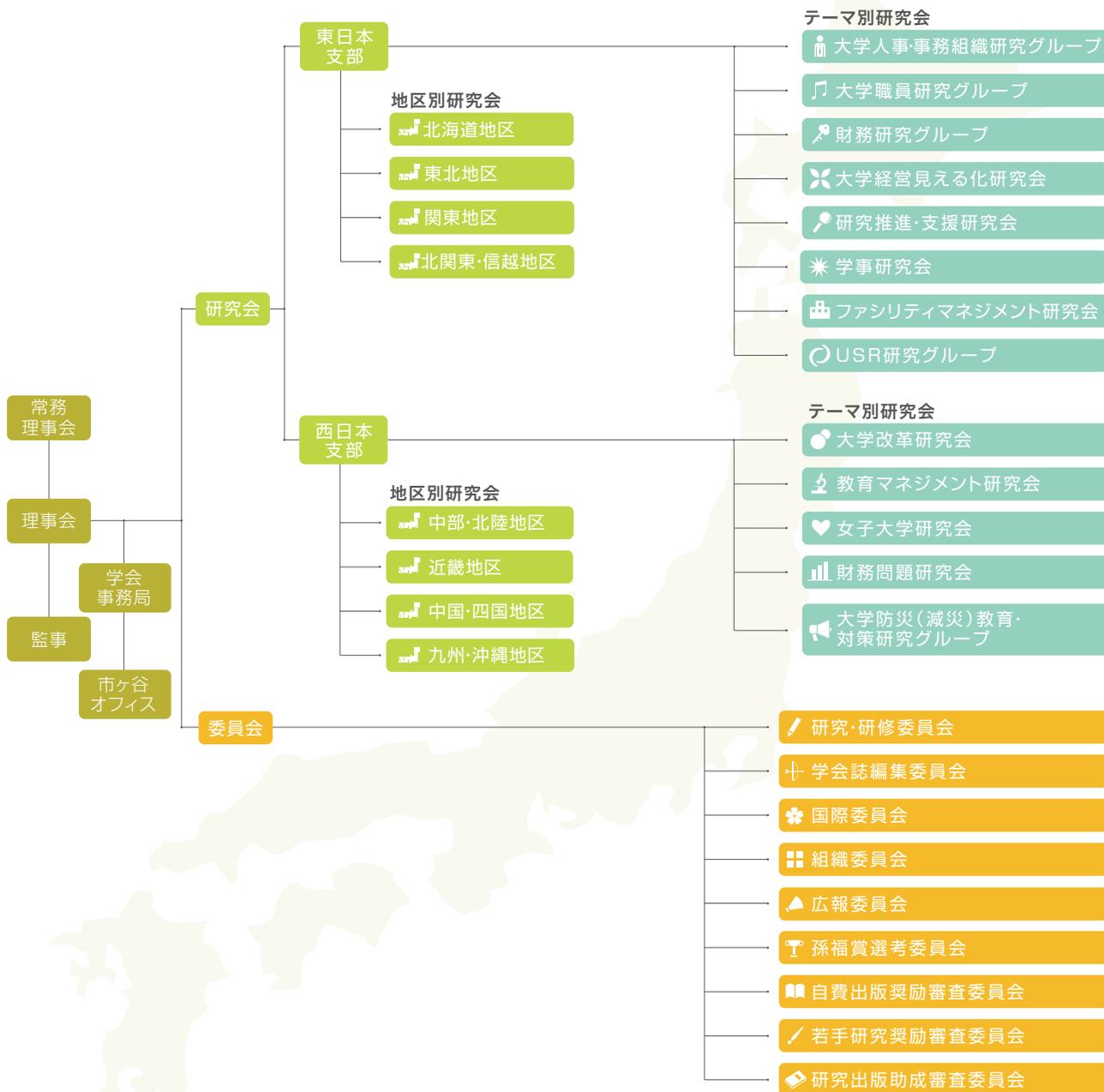
一方、SDGsが求められ、Society5.0が示される中で、教育・研究・社会貢献活動を通じて明るい未来をデザインし、その未来を担う人材を育成することは大学の変わらぬ責務であり、社会は大学に大きな期待を寄せています。そして、大学がその期待に添えていくために、職員が果たすべき役割は少なくありません。とりわけ、現在も続くコロナ禍において、教員と職員の役割の垣根が低くなったことで、職員に求められるもの、職員が活躍できる場は、より大きく、より広くなったように感じています。

大学行政管理学会（JUAM）は、大学における多様な領域を実践的、理論的に研究し、プロフェッショナルとして大学行政管理にたずさわる人材の育成を通して大学の発展に寄与することを目的とし、1997年に設立された学会です。その活動は既に四半世紀を超え、この間、それぞれの大学を牽引する職員を当学会から輩出してきたと自負しております。

発足当初から全国各地の研究会やテーマ別研究グループ等を中心に活動していますが、年齢、性別、経験年数や担当業務を超えて切磋琢磨し、吸収し合うダイナミズムがこの学会にはあります。ともに学び、交流し研鑽しあいながら、一人ひとりの成長と大学の発展に寄与する、これが大学行政管理学会の原点です。会員は北海道から沖縄まで及び、会員数は2021年7月現在、約1,200名です。

社会やステークホルダーが大学に求めるものが多様化、複雑化している中で、大学だけでなく個々の職員も多様な視点を持つことが求められています。多様な視点や未知の経験との出会いを求めて、皆様もJUAMの輪に加わりませんか。ご加入を心よりお待ちしております。

組織図



地区別研究会、テーマ別研究会・グループへのお誘い

地区別研究会

東日本支部

北海道地区研究会

北海道地区における大学職員のSD活動を目的として活動しています。地区研究会を年3回のほか、中堅・若手勉強会、若手職員研修会を開催しています。SDに関するテーマをブレイクダウンし、参加者が問題意識や問題解決の方向などを共有できるように取り組んでいます。資格制限はありません。地方の大学を元気づけるためにご参加ください。

東北地区研究会

東北地区の大学に勤務する会員による研究発表や各大学の事例報告を行いながら、大学職員相互の“学びと励まし”のネットワークとして、会員相互に研鑽と交流を深める機会としています。原則年2回の研究会と中堅・若手勉強会を中心に、主として東北学院大学土樋キャンパスで開催しております。東北地区の会員を前提としていますが、どなたでも歓迎いたします。

関東地区研究会

関東地区研究会では研究活動テーマを限定せず、幅広く学会員に提供できるような研究テーマで年3～5回（不定期）、東京都内の大学会議室等を中心に使用して開催しております。

講演会、ワークショップの形式で開催し、交流や情報交換の場を広げることを目的としています。参加資格、条件は特ありません。非会員の方も是非ご参加ください。

北関東・信越地区研究会

高等教育、また大学職員を取り巻く諸課題を取り上げ、他研究会との合同開催も取り入れながら、年に2回程度、勉強会・研修会を開催しています。

この地区は小規模な大学がほとんどなので、いかにして個性を発揮するか、また、大学職員の相互啓発と実務家としての研鑽に関して、取り組んでいきます。

研修会等へはどなたでも参加できます。皆さまのお越しをお待ちしております。

西日本支部

中部・北陸地区研究会

本研究会では、大学の教育・研究、管理・運営など大学を取り巻く様々な課題に関し、問題意識を持ち取り組んでおり、若手・中堅職員の育成を中心とした研究会を年2～3回実施しています。また、実施の研究会は地域性を考慮し、東海エリア並びに北陸エリアでそれぞれ実施していますので、全国から多くの皆様の積極的な参加をお待ちしております。

近畿地区研究会

近畿地区研究会では、西日本支部のテーマ別研究会等と連携しながら、適宜のテーマにより、年6回程度の研究会を開催します。

昨今は高等教育を取り巻く環境変化が著しく、大学教育の質的向上を図る上で考えなければならないテーマがたくさんあります。大学の戦略的経営、高等教育政策、SD、大学のガバナンス、国際化などについて、主にワークショップ形式で開催しています。

中国・四国地区研究会

本研究会では、年間3～4回程度の研究会を開催しています。大学教職員なら誰もが関心をもつテーマをはじめ、若手・中堅職員対象のテーマなどを取り上げ、多彩な研究会を開催しています。中国・四国地区の学会員はもとより、他地区の学会員、さらにこれから学会への入会を考えている方々も多数、参加しています。また、地域のコンソーシアム団体等とも協力し、大学教職員の資質向上に取り組んでいます。

九州・沖縄地区研究会

本地区研究会は「大学行政・管理」全般にわたり会員相互の啓発と研鑽を深めるため、年4回の研究会と若手・中堅職員勉強会を実施しています。外部講師による講演や会員発表のほか、ワークショップ、研究会後の情報交換会等での相互研鑽とネットワークづくりにより、所属大学のみならず広く地域の大学発展に貢献したいと考えています。地区以外、会員以外の参加も歓迎します。

テーマ別研究会

東日本支部

大学人事・事務組織研究グループ

「大学人事」研究グループと「大学事務組織研究会」を統合し、新たな研究グループを発足しました。この研究会では、これまでの両研究グループ及び研究会がそれぞれに積み上げた研究を継承しつつ、コロナ禍及びその後における新しい大学人事と事務組織の在り方について理論と実務を融合しながら考察を深めていきます。研究会は年に4回程度開催し、事例研究や講演に加え、情報共有やワークの実施などを組み合わせた参加型の研究会として活動します。新しい研究会として、人事担当者の方はもちろんですが、人事担当以外の新しいメンバーの方もご参加をお待ちしております。

大学職員研究グループ

職員の実践力を持った専門職としてのあり方を研究し、同時に会員自身の自己研鑽を支援することを目的に1999年1月発足しました。研究成果として、「大学職員—その属性」(2001年)、職員に関する各種調査報告(学会誌7・9・10号)、「大学職員の専門性」を検討する領域の一つとして、大学アドミニストレーターの領域や必要な能力についての概念的な枠組みを、プロフェッショナルである大学アドミニストレーターの専門性—個人的能力のキャリアパス—(リーフレット)で示しました(2007年)。また、大学職員の労働生産性の向上を視野に入れたSDやJob Descriptionのプログラムの事例検討(2008年から現在)があります。

財務研究グループ

学校法人の会計制度・財務構造・財務戦略にテーマを絞って、より具体的・実践的に研究活動を進め、実際に研究成果をアウトプットしていくことを目指しています。原則として4月8月をのぞく毎月第3木曜日に研究会を開催しています。研究結果の成果を踏まえて、2006年9月には『大学財務研究』、2011年3月には『これならわかる！学校会計』の2冊の書籍を発行しました。後者については、学校法人会計基準の改正に対応して、これまで2度の改訂を行っています。

大学経営見える化研究会

本研究会は、2002年設立時より大学経営の課題に見える化することを目指し、研究を進めてきました。研究開発した〈大学経営評価指標〉は多くの大学に導入されており、また、本研究会が策定した〈大学ガバナンス・コード〉はガバナンスとマネジメントの実施すべき項目とレベルを設定しています。現在は、これまでの研究成果を踏まえ、大学における中期経営計画の有機的活用の促進について研究中です。参加資格は問いません。毎回の大学実務に関する最新情報交換も有意義です。原則隔月土曜日の午後開催です。

研究推進・支援研究会

研究推進・支援に携わる職員の専門性と役割、戦略的対応について研究・議論することで、業務に関する見識を深め、個人の資質向上に寄与することを目的としています。主として、外部研究資金の獲得及び執行とそのコンプライアンスに関する業務、ならびにリスクマネジメント、成果取扱いに関する契約及び知財マネジメント等の今日的なテーマについて、発表・講演会等を企画して、参加者自身が抱えている研究推進・支援のあり方や実務上の問題点を探求しています。

なお、開催ペースは年3～4回、土曜日開催を原則としております。

多くの大学関係者のご参加をお待ちしています。

学事研究会

「大学行政の中心に学生をおき、コアとなる学生に関連するアドミニストレーター機能の発展に資する」ことを目的とした研究会です。大学における学事、学事におけるアドミニストレーターの機能・役割について、幅広く追究しています。研究会は主として首都圏の大学で開催しています。参加資格は特に問いません。

ファシリティマネジメント研究会

キャンパス、施設、設備等における「ファシリティマネジメント」の考え方について研究活動を行っています。事例研究として、大学施設の設計概要の紹介や見学会の開催などを、関東圏の大学を中心に不定期ですが開催しております。施設関係の担当者だけでなく、学務及び学生担当者など、どなたでも参加可能です。

USR研究グループ

大学の社会的責任とは何かを問い続け、解決すべき社会的課題について議論し、大学が自らの力で持続可能な社会を創造していくことをめざします。月1回、平日の夜間に都内の大学で活動しています。老若男女問わず、将来を担う大学人に参加を呼びかけるとともに、民間企業、官公庁からの参加も歓迎しています。

📍 大学改革研究会

「大学職員間の相互支援-支え合いから生まれる次世代の大学運営-」を活動テーマとしています。大学職員一人ひとりの専門性の強化が求められている昨今、若手・中堅層の大学職員が自律した大学アドミニストレーターとして成長する機会を提供すべく、2～3カ月に1回程度の頻度でワークショップを開催しています。どなたでも参加可能です。

📚 教育マネジメント研究会

2006年の発足以来、学生の「多様化」に対応した「教育力の強化」、教育体系のマネジメントのための普遍的手法の開発等を課題に取り組んでいます。学生の主体的な学びを促進するための実践のなかで、教育とマネジメントを関連づけた理論と実践の架橋、あるいはこれからの往來する研究を通して、現場の課題に迫ることを目指しています。年に2回程度、公開研究会を企画し、また、研究会メンバー内で意見、情報の交換を行っています。

👩 女子大学研究会

近年、女子大学の共学化が進んでいます。本研究会は、女子大学を取り巻く環境変化を多方面から分析し、女子大学（教育）の現代的意義や優位性を探求しながら、女子大学全体の活性化と連携強化を目指します。年2回程度、関西を中心に各地区で開催。女性の高等教育史、現在の教育内容、経営・改革、海外の女子大学（教育）などのテーマを設定して研究しています。

💰 財務問題研究会

研究テーマは財政施策、財務分析、私学助成、学校法人会計基準、予算制度、学費体系、財務システム、法令遵守、内部統制等。研究会は年3回程度、原則として土曜日の午後で開催します。

📢 大学防災(減災)教育・対策研究グループ

本研究グループは、防災・減災の“意識と知識”を有した発災時から活動できる人材の育成(教職員・学生共々)は、日本の大学が担う重要な使命の一つであるとの考えから、以下のテーマを軸に活動を行います。

- ① 「防災(減災)教育の開発・啓蒙に関すること」
- ② 「防災(減災)に関するマネジメント(危機管理)」
- ③ 「防災リーダー養成に関すること」

上記の研究成果から防災・減災に関する総合的なアーカイブの構築も目指します。皆様方からのご指導・ご教示をお待ち申し上げます。

委員会活動

🔍 研究・研修委員会

- ① 定期総会・研究集会の企画・運営
- ② 地区別・テーマ別研究会の運営支援
- ③ 若手研究奨励に係る公募、及び候補者の審査等
- ④ その他、学会としての研究・研修に係る企画等

✚ 学会誌編集委員会

- ① 一般投稿の募集、査読および修正依頼、原稿種別の決定
- ② 巻頭言、総会講演、孫福賞、若手研究奨励、海外派遣、会務報告、会員名簿等に係る各種原稿の依頼・受付
- ③ 著者校正、原稿配列、レイアウト、印刷、製本、発送等に必要業務の委託、ならびに最終校正および連絡調整
- ④ 学会誌規程、執筆要領、査読等のルール整備

🌸 国際委員会

- ① 海外の大学行政管理の専門家組織との連携の促進
- ② 海外における大学行政管理の現状と課題についての情報収集
- ③ 英国 AUA (Association of University Administrators) 総会への会員派遣
- ④ 若手海外派遣事業 - 海外大学調査研修 - (※ 2018 年度実施)

🏠 組織委員会

- ① 自己点検・評価への取り組み
- ② 各地区など支部設置と運営ルールの明確化
- ③ 各委員会の役割分担と運営ルールの明確化
- ④ 学会内組織体制の検討

📢 広報委員会

- ① ホームページの充実、データベースの活性化

🏆 孫福賞選考委員会

- ① 孫福賞授与者の選考

📖 自費出版奨励審査委員会

- ① 自費出版奨励金の交付者審査

📝 若手研究奨励審査委員会

- ① 若手研究奨励の審査

📖 研究出版助成審査委員会

- ① 研究出版助成の審査

表彰・奨励

▶ 孫福賞

本会初代会長 故・孫福 弘の功績を顕彰し、会員の特に優れた研究・実践業績を表彰するために2006年より設けられています。

▶ JUAM 奨励賞

本会における正会員の特に顕著な活動および本会事業への貢献を表彰するため2016年に設けられました。

▶ 自費出版奨励

大学行政管理の分野に関する論理的研究又は実践の経験をもとにした「自費出版」を行うとする正会員を助成します。

▶ 若手研究奨励

若手の会員（39歳以下の個人またはグループ）の研究活動を奨励し、学会の研究活動の活性化と研究水準の向上を図ることを目的として2006年より設けられています。

会員への定期的なお知らせ

- ・各研究会開催のお知らせをメールで配信します。
- ・ホームページ上で「会員リレーコラム」を掲載しています。
- ・『学会誌』（年1回発行）を送付します。

入会後の活躍の場

▶ 研究会・委員会への参加

参加ご希望の方は、ホームページのお問い合わせフォームより事務局までご連絡ください。

▶ 定期総会・研究集会への参加、研究発表

例年9月上旬の土・日曜に開催。基調講演、ワークショップ、研究発表等を行っています。

▶ 学会誌への投稿

事例報告から学術的論文に至るまで、幅広く論稿を募集、査読を経て掲載されます。

会員専用ページのご紹介

▶ 研究データベース

地区研究会、テーマ別研究会及び定期総会・研究集会の発表資料を収録。キーワード検索及びダウンロードが可能です。

▶ 事務局便り

常務理事会・理事会・研究会開催報告等を掲載。過去の開催状況も閲覧できます。

▶ 共有ドライブ

過去の会報・学会誌、最新の会員名簿の閲覧が可能。

学会のあゆみ

1997年1月 発足

1997年1月 設立記念講演（於：慶應義塾大学）

定期総会・研究集会

- | | |
|------|--|
| 第1回 | 1997年度開催（9月6・7日 於：法政大学） |
| 第2回 | 1998年度開催（9月5・6日 於：龍谷大学） |
| 第3回 | 1999年度開催（9月4・5日 於：明治大学） |
| 第4回 | 2000年度開催（9月2・3日 於：早稲田大学） |
| 第5回 | 2001年度開催（9月1・2日 於：名城大学） |
| 第6回 | 2002年度開催（9月7・8日 於：神奈川大学） |
| 第7回 | 2003年度開催（9月6・7日 於：広島修道大学） |
| 第8回 | 2004年度開催（9月4・5日 於：東洋大学） |
| 第9回 | 2005年度開催（9月3・4日 於：札幌大学） |
| 第10回 | 2006年度開催（9月1～3日 於：青山学院大学） |
| 第11回 | 2007年度開催（9月8・9日 於：福岡大学） |
| 第12回 | 2008年度開催（9月6・7日 於：日本大学） |
| 第13回 | 2009年度開催（9月5・6日 於：立命館大学） |
| 第14回 | 2010年度開催（9月4・5日 於：國學院大學） |
| 第15回 | 2011年度開催（9月3・4日 於：金城大学） |
| 第16回 | 2012年度開催（9月8・9日 於：芝浦工業大学） |
| 第17回 | 2013年度開催（9月7・8日 於：東京電機大学） |
| 第18回 | 2014年度開催（9月6・7日 於：東北学院大学） |
| 第19回 | 2015年度開催（9月5・6日 於：関西大学） |
| 第20回 | 2016年度開催（9月9～11日 於：慶應義塾大学） |
| 第21回 | 2017年度開催（9月2・3日 於：西南学院大学） |
| 第22回 | 2018年度開催（9月1・2日 於：桜美林大学） |
| 第23回 | 2019年度開催（9月7・8日 於：実践女子大学） |
| 第24回 | 2020年度開催（9月5日 於：國學院大學〔※〕）
〔※新型コロナウイルス感染予防のため研究集会は中止。
代替イベントとして「オンラインによる研究・実践交流会」を実施〕 |
| 第25回 | 2021年度開催（9月4・5日 於：神戸学院大学） |

会員の声



「新しい風に押されてみる」

実践女子大学 田中 三恵子

研究会に参加する度に、もう少し若い時期にJUAMの活動に接していたら?……との思いが生じます。同時に、大学に入職した頃の私は果たして他の会員の方のように高い志を持っていたかどうかの思いが逡巡します。

JUAMが設立される十数年前、管理部門からスタートした私の大学職員人生は、目の前の業務に追われ、自己の成長を考えて、知識や学びから喜びを得たりする環境とは程遠い日々を送っていました。そのような中でも外部団体出身の直属の上司から、規程集や私学必携等のどこを調べたら良いか等、初歩的なところから教えて頂く機会に恵まれました。

刺激を受けて積み重ねる、新しい風に押され前進する、その様なごく自然な流れのまま管理職となり、自分の人生で全く想像もしていなかった転職を経験し、そこで未知なるJUAMをご紹介頂きました。入会のきっかけや動機は本当に様々です。特に女性はなかなか仕事の方に没頭することが出来ず、自己啓発や研鑽の時間を持てずにいる方も多いのではないのでしょうか。ただ、教育機関で働く限り、そこで学ぶ学生のために何が出来るのか、先を行く者としてどのようにあったら良いのかを考え見つける機会が必要であり、理想的な組織としてJUAMの存在があります。私自身は声高な女性活躍を余り好みません。でも、多くの女性職員が貢献している大学組織から、少しでも多く仲間が増えることを心から期待しております。

「過去に学び、現在を知り、未来を創造する場」

名城大学 橋本 昌紀

私が本会に入会したきっかけは、本会の研究会での発表準備を進めていた、人事異動先の上司と先輩職員からの呼びかけでした。発表内容が、私自身のこれからの担当業務に直結していたため、入会自体は「必然」の選択でした。しかしながら、改めて振り返ると、人事異動前の担当業務において「プロフェッショナルとは何か?」を何度も考える機会があったことは、本会の門を叩いた、大きな後押しになったと思います。そして、初めて参加し

た研究会で、熱意溢れる多くの会員に出会えた「偶然」が、「必然」を「自発」へ変え、今日まで本会の様々な活動に参加し続けた原動力の1つだと考えます。また、学校法人や大学等の設置学校が抱える様々な課題に対し、所属組織や組織上の役職、配属部署の違い等から生まれる、捉え方や解決に向けた発想、アプローチ、思考法の違いを、会員相互の対話を通じて学ぶ機会が溢れていることも、自組織だけに留まっていたでは得ることができない、本会の大きな魅力であると思います。そして、学びを通じて理解した課題の本質や、得られた知見を、いかに自組織や自校の学生・生徒に「最適解」として還元できるかは、常に自らに課す最大の挑戦であると感じています。まもなく設立四半世紀を迎える本会は「過去に学び、現在を知り、未来を創造する場」であると思います。これからも、一人でも多くの皆様と共に学びあえることを期待しています。

「全国の仲間と切磋琢磨しませんか」

熊本学園大学 齊藤 琢磨

大学行政管理学会と私が出会うきっかけは、2008年に本学で開催された九州・沖縄地区研究会に応援として参加したことでした。その時、研究会のととてもあたたかい雰囲気や参加の皆さんから歓迎を受けたことをよく覚えています。その後、2012年に「会員になってはどうか」というお誘いを受け、会員になり、九州・沖縄地区研究会のみならず他地区の研究会や研究会に参加してきました。その後、九州・沖縄地区研究会で若手・中堅職員勉強会の立ち上げや地区研究会の世話人などを仰せつかっています。

私の入会前もそうでしたが、学会と聞かれるとやや堅苦しい印象をお持ちの方もいらっしゃると思います。当学会は論文執筆や研究発表以外にも専門家からの講演や普段の業務を通じた事例発表なども行われており、普段の業務に結びつくものが多くあります。学会には様々な大学、年代の方が参加されており、学内の研修だけでは得ることが出来ない先駆的な事例や知見を得ることができます。また、その場限りの人間関係ではなく、継続的な人間関係が構築できるのも本学会の魅力ではないかと思います。

昨今の高等教育がかかえる諸問題を乗り越えるために、少しでも興味をお持ちの方は加入をされてはいかがでしょうか。また、非会員の方でもまずはお近くの地区研究会に参加されてはいかがでしょうか。各研究会は皆さんの参加を心から歓迎します。

入会の申し込み

入会資格

- ① 正会員** 本会の目的に賛同される大学・短期大学・高等専門学校を設置する法人又は地方公共団体の職員・教員・役員、大学関係団体の職員
- ② 賛助会員** 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛同しようとする個人又は団体
- ③ エルダー会員** 継続在籍期間が3年を超える正会員が所属する法人または地方団体を退職後、引き続き本会の目的に賛同する者
- ④ 学生会員** 主たる身分が学生である者

年会費（7月～6月）

- ① 正会員** ……10,000円
- ② 賛助会員** 個人：20,000円（一口）以上
※ただし、2022年度からは10,000円（一口）以上
団体：50,000円（一口）以上（3名まで登録可）
- ③ エルダー会員** ……5,000円
- ④ 学生会員** ……5,000円

賛助会員又は学生会員でご入会を希望される場合は、正会員1名の推薦者を明記のうえ、学会ホームページ入会申し込みフォームよりお申し込みください。

※大学行政管理学会事務局へのご案内

JR、地下鉄（有楽町線、南北線、新宿線）：「市ヶ谷駅」下車徒歩5分

JR：市ヶ谷駅を出て、靖国通りを直進

地下鉄：A3の地上出口から、右方向へ

